

令和 2 年度鳥取県営病院事業
決算概要説明資料

病 院 局

令和2年度鳥取県営病院事業決算概要

病 院 局

1 概 要

○令和2年度は病院事業全体として606百万円の赤字を計上した。経営状況を判断する経常損益については、中央病院は204百万円の赤字を計上(前年度に引き続き2年連続)、厚生病院は1,198百万円の黒字を計上(前年度に引き続き3年連続黒字)。
 ○純損益は、中央病院が1,783百万円の赤字、厚生病院が1,177百万円の黒字となった。
 ○中央病院については、新病院建て替えと建て替えに伴う機器購入の減価償却費の負担が大きいため今後4年程度は赤字を見込んでいる。厚生病院については、患者数は減少しているものの診療単価は伸びており、今後も黒字を見込んでいる。
 ○累積欠損金は、病院事業全体で76億円と増加した。なお、現金・預金は十分に保有しており、当面の経営に支障はない。

2 収益的収入及び支出

(単位：百万円 (税抜))

区 分	令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	差 引 (A)-(B)	主 な 増 減 理 由 等
病院事業収益	27,233	24,596	2,637	
中央病院	17,965	16,631	1,334	
厚生病院	9,268	7,965	1,303	
医業収益	21,219	21,307	△ 88	
医業外収益	5,340	3,260	2,080	○補助金の増 (2,212百万円)
特別利益	674	29	645	○コロナ慰労金の増 (396百万円)
病院事業費用	27,839	25,699	2,140	
中央病院	19,748	17,910	1,838	
うち減価償却費	2,042	2,152	△ 110	○新病院整備に伴う建物・機器類に係るもの
厚生病院	8,091	7,789	302	
うち減価償却費	476	532	△ 56	
医業費用	24,112	23,926	186	
医業外費用	1,453	1,275	178	
特別損失	2,274	498	1,776	○除却費の増 (1,823百万円)、コロナ慰労金支給 (396百万円)
経常損益	994	△ 634	1,628	(医業収益+医業外収益) - (医業費用+医業外費用)
中央病院	△ 204	△ 818	614	
厚生病院	1,198	184	1,014	
純損益 (収入-支出)	△ 606	△ 1,103	497	経常損益+特別利益-特別損失
中央病院	△ 1,783	△ 1,279	△ 504	
厚生病院	1,177	176	1,001	
現金・預金残高	8,236	6,595	1,641	
中央病院	4,469	4,521	△ 52	
厚生病院	3,767	2,074	1,693	
累積欠損金 (当年度未処理欠損金)	△ 7,600	△ 6,994	△ 606	
中央病院	△ 3,927	△ 2,144	△ 1,783	
厚生病院	△ 3,673	△ 4,850	1,177	

3 資本的収入及び支出

(単位：百万円 (税込))

区 分	令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	差 引 (A)-(B)	備 考
資 本 的 収 入	3,357	3,769	△ 412	
企 業 債	2,027	2,153	△ 126	建設改良費に充当
負 担 金	622	902	△ 280	企業債償還金に充当
補 助 金	442	171	271	建設改良費に充当
一般会計精算金 受 入	265	543	△ 278	○一般会計精算金(※)の後年度受入
その他の収入	1	0	1	
資 本 的 支 出	4,808	4,044	764	
建 設 改 良 費	2,500	2,645	△ 145	
企業債償還金	2,308	1,274	1,034	
補助金返還金	0	125	△ 125	
収 入 - 支 出	△ 1,451	△ 275	△ 1,176	
中 央 病 院	△ 1,162	△ 1	△ 1,161	
厚 生 病 院	△ 289	△ 274	△ 15	

※一般会計精算金：過年度に交付された病院事業交付金の精算。

■主な整備事業

【中央病院】

- 既存本館等解体 179百万円
- 駐車場整備工事 319百万円
- 車庫等新築工事 43百万円

【厚生病院】

- 病棟集中治療室ほかエアコン更新工事 25百万円
- 水害対応設備整備工事 82百万円